



小林 聡勇  
こばあきお  
公明党  
(50分)



帯状疱疹のワクチン接種は

**問** 接種費助成の考えは。

**答** 国において定期接種化が審議されているワクチンの一つであるが、導入年齢等に関してさらなる検討が必要とされている。定期接種化が審議されているほかのワクチンと合わせて検討する必要があると考える。

自転車用ヘルメットの購入は

**問** 4月にヘルメット着用が努力義務化されたが、着用している運転者がまだ少ないように見受けられる。対策として購入費助成をしようか。

**答** 交通事故の被害を軽減するためヘルメットの着用は効果的と考えており、交通安全教室や出前講座、駅周辺などでの自転車利用者に対するチラシ配布等の啓発に取り組んでいる。購入費の助成については、費用対効果を見極めながら検討していく。



皿谷 久美子  
さらがいくみこ  
公明党  
(50分)



LGBTQなどの性的少数者は

**問** パートナーシップ制度、ファミリーシップ制度導入の考えは。

**答** 地方自治体が導入することで性的マイノリティーの方の生きづらさや不安の軽減、社会的な理解促進につながると考える。本市においても

現在、制度の導入を検討しており、当事者団体や有識者の意見を聞く中で構築していく。



本市作成のレインボーリボン

手城川流域の浸水対策は

**問** 蔵王雨水幹線・ポンプ場の構築による床上浸水回避の具体は。

**答** この施設は効果的に雨水を雨水幹線に流入させ速やかに手城川に排水するものである。ポンプの増設等、県の河川事業と市の事業を一体的に実施することで、平成30年7月豪雨と同様の降雨に対して床上浸水が解消され、被害が軽減するものである。



野村 志津江  
のむらしずえ  
公明党  
(50分)



女性の健康増進は

**問** 更年期世代の健康相談窓口は。

**答** 更年期は心身にさまざまな症状がみられることがある。症状の出現は個人差が大きく、日常生活に支障を来す場合もある。広島県の性と健康の相談センターでは、更年期等の悩みなど、幅広い相談に対応している。本市では保健師が心身の健康や悩みの相談を受けており、必要に応じて医療機関や県の相談センターを紹介している。



本市の健康相談の様子

教育と福祉の連携は

**問** これまでの取り組みの内容は。

**答** 2018年度から各学校の特別支援教育コーディネーターと放課後等デイサービス事業所の管理者などが参加する合同研修を実施している。現在、学校と事業所、保護者の課題解決に向けた情報の共有や定期的なケース会議の実施事例が増えている。

※チャットGPT等の生成AI(P6) : 生成AIは、文章や絵画、音楽などを人間のようにつくり出せるAIのこと。中でも、チャットGPTは、あらかじめ大量の文章を学習し、状況に応じた文章で会話することができるサービス